

自転車活用 推進研究会

Bicycle Usage Promotion
Study Group



自転車安全教育の新展開

デンマーク式

自転車ゲーム

導入の方法

第9回 自転車活用研究会in関西

平成31年 2月 1日 (金)

中央復建コンサルタンツ株式会社 / 2階会議室

特定非営利活動法人
自転車活用推進研究会

理事 藤本 典昭

自転車ゲームとは

自転車・ランバイクを使った遊び（ゲーム）



自転車ゲームとは

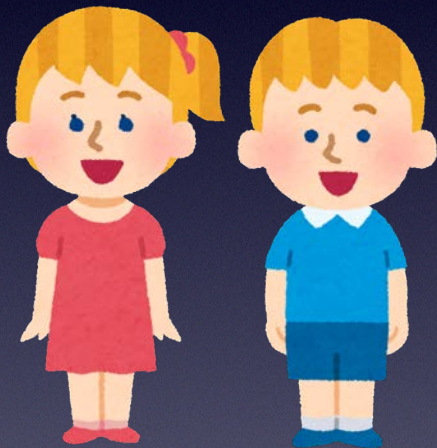
自転車・ランバイクを使った遊び（ゲーム）



自転車ゲーム

なぜ？  デンマーク式

デンマークの子ども



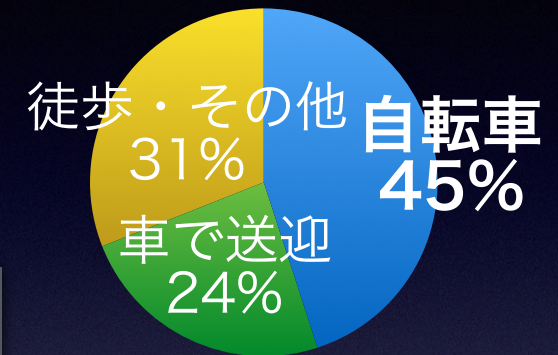
① 45%が自転車通学

② 一般的に自転車デビューは
小学校入学前

③ 乗り方は親が教える責任がある
との認識

④ デンマークサイクリスト連盟による
教材化・指導の充実

学校への自転車利用



自転車ゲーム



3つのねらい

① 自転車に乗ることの楽しさを感じる

② 楽しく効果的に自転車での公道デビュー時に必要な技能を段階的に習得する

「まずは自転車の安全、そして交通安全」

③ 子どもの多面的な自己開発を促すと共に、ぶつからないよう他者を思いやるなどの社会性を育む

未就学児への自転車安全教育は人間教育の第一歩

自転車ゲーム・マニュアル

，「20 CYKELLEGE 和訳版」



著作権：デンマークサイクリスト連盟
和訳については当会が責任を負います。

目次

ページ

04 はじめに

06 安全に自転車ゲームを楽しむために

07 学校と幼稚園で

08 自転車ゲームを始めよう

10 この本の使い方

11 ゲームリスト

12 20通りの自転車ゲーム

52 子どもの自転車指導

53 サイクリスト連盟に加盟する

重要

自転車ゲーム



導入



実施スタイル
確立



- 何を
- なぜ
- どのように
- いつ
- どこで
- だれが

- 保育所・幼稚園の要望
- 教育・保育 実施体制
- ゲーム内容・組立
- 運営 講師
- 機材 予算

自転車ゲーム

実施スタイル
確立

保育所・幼稚園の要望

教育・保育 実施体制

ゲーム内容・組立

運営 講師

機材 予算

導入例

平成28年度から京都市内の保育所・幼稚園で実施

京都市

京都市自転車安全教育プログラム

自転車安全教室取組事例集

平成30年3月
京都市

1-① キックバイクを用いた子ども自転車教室

自転車に乗るための基本となる運転操作を、楽しく、より実践的に教える。

1 わらい

- 自転車デビューを迎える幼児期に、自転車に乗るための基本となる能力の習得
- バランス感覚などの運動能力に加え、ぶつからないように他者を思いやる気持ち等を養成。
- 楽しく、より実践的に教える。

2 形式内容

形式

- 実技形式（キックバイク®を用いたゲーム形式）

※ 自転車のようにまたがって乗り、足で地面を蹴って進む、ペダルやブレーキがない幼児用の二輪車。 「キックスバイク」や「ストライダー（商品名）」とも呼ばれるもの。

- 受講時間：1時間程度
- 実施場所：屋外

内容

- 自転車の基本的な運転操作をゲーム感覚で実施
- ボールにあたらぬように止まる（危険回避の練習）。
- 前の人との距離を考えて、ぶつからないように乗る（他者への配慮の練習）。
- 両足をあげて、地面にできるだけ足がつかないように走行（バランス感覚の練習）。 など

3 特徴

- 単に自転車の運転操作を習得するだけでなく、基本事項として、「ぶつからないよう他者を思いやる」「ルールを守り・順番待ちをする」「チームプレーをする」「やる気・喜び・達成感を実感する」ことができるよう、実施する幼児に合わせ、ゲームを選択、プログラムにして実施
- 子どもたちが飽きず楽しく、技術を習得するためにゲーム形式で実施

19

協力：京都市・

（一社）市民自転車学校プロジェクト（CCSP）

出典：京都市自転車安全教育プログラム

「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

自転車ゲーム

実施スタイル 基本10項



協力：京都市・

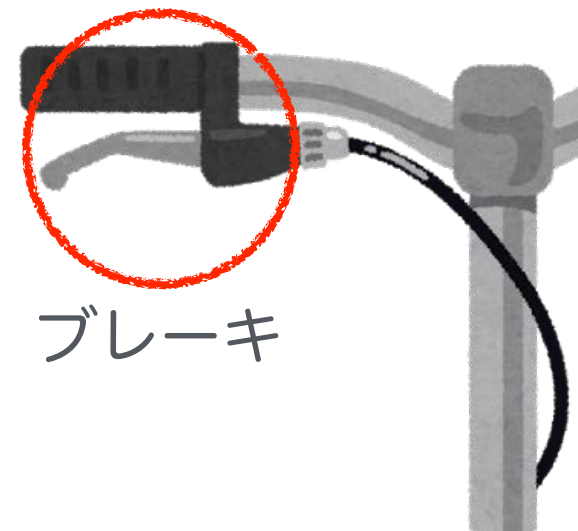
(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)

出典：京都市自転車安全教育プログラム

「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

① 自転車ゲームには「ブレーキ付きランニングバイク」を用いています。

走ると同時にブレーキで「とまる」ことも学びます



自転車ゲーム

実施スタイル 基本10項



協力：京都市・

(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)

出典：京都市自転車安全教育プログラム

「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

② 自転車ゲームはグループ単位で実施しています。
グループは概ね10名~12名を単位とし、講師1名
と補助2名以上で構成しています。

責任を持って遊ばせることが大切

1 グループ

5歳児10~12名

講師1名 + 補助2名



1グループ最大：5歳児15名 補助3名



自転車ゲーム

実施スタイル 基本10項



協力：京都市・
(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)
出典：京都市自転車安全教育プログラム
「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

③ 開催場所は、車が来ない平坦でランニングバイクが容易に進みやすい路面が望めます。

屋内開催時はゲーム選定に注意が必要



自転車ゲーム

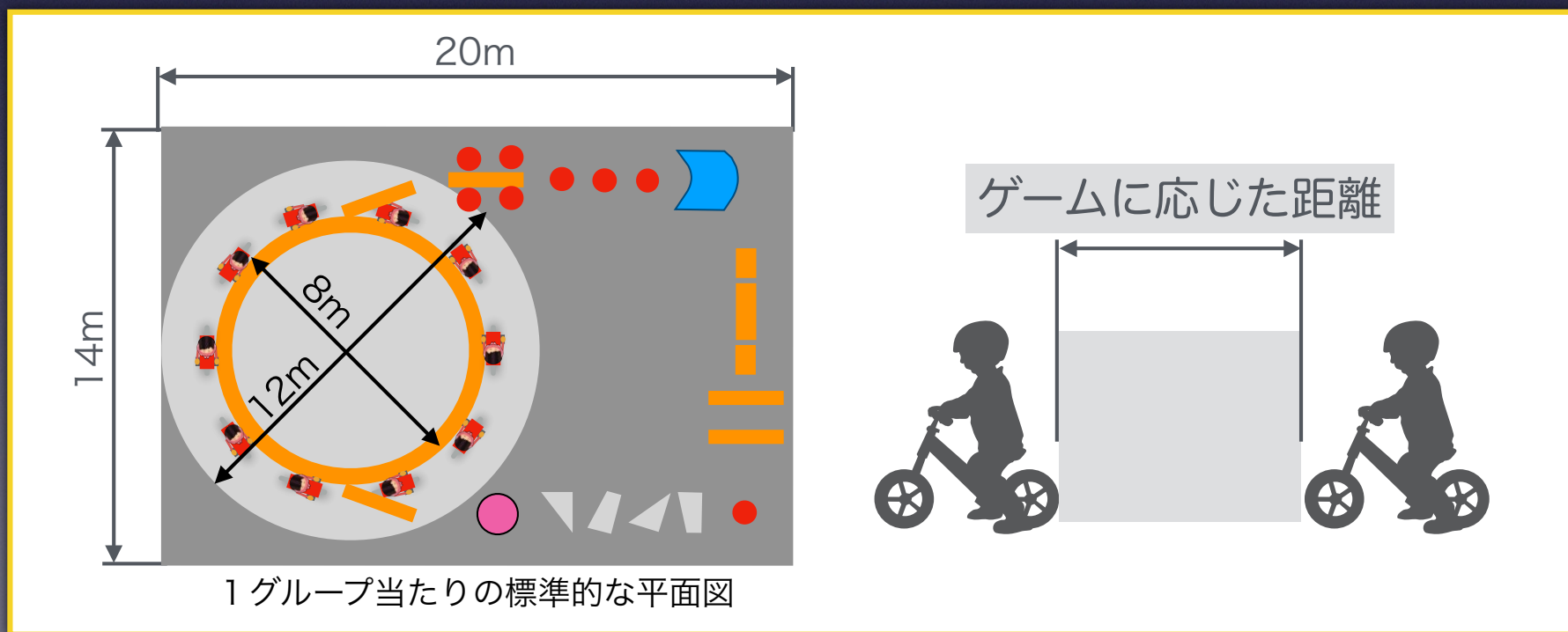
実施スタイル 基本10項



協力：京都市・
(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)
出典：京都市自転車安全教育プログラム
「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

④ 開催場所の広さは、概ね幅14m・長さ20m を基本としていますが、開催場所に応じて対応しています。

ランバイク前後に距離が取れるようなコース設定が必要



自転車ゲーム

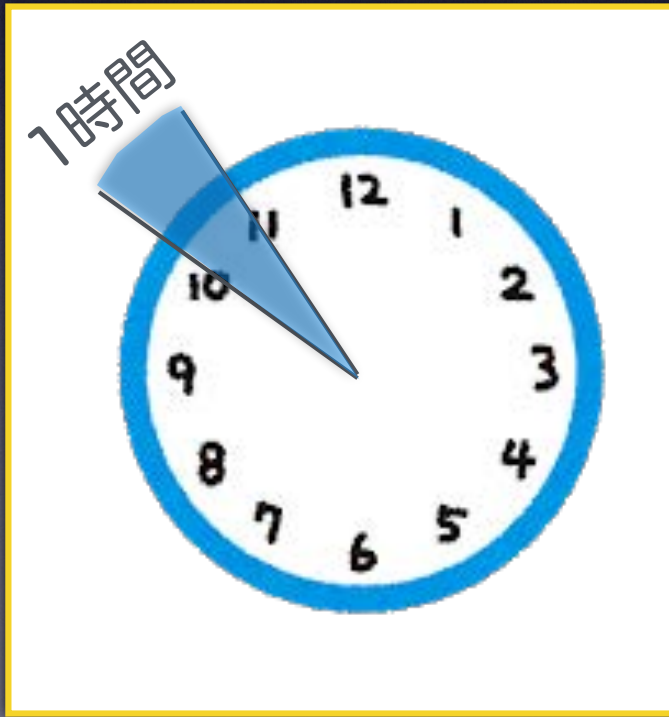
実施スタイル 基本10項



協力：京都市・
(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)
出典：京都市自転車安全教育プログラム
「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

⑤ 開催時間は、フィッティングを含めて概ね一時間、途中適時水分補給などの休憩を取っています。

天候や年齢に応じて開催時間を変えています



自転車ゲーム

実施スタイル 基本10項



協力：京都市・

(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)

出典：京都市自転車安全教育プログラム

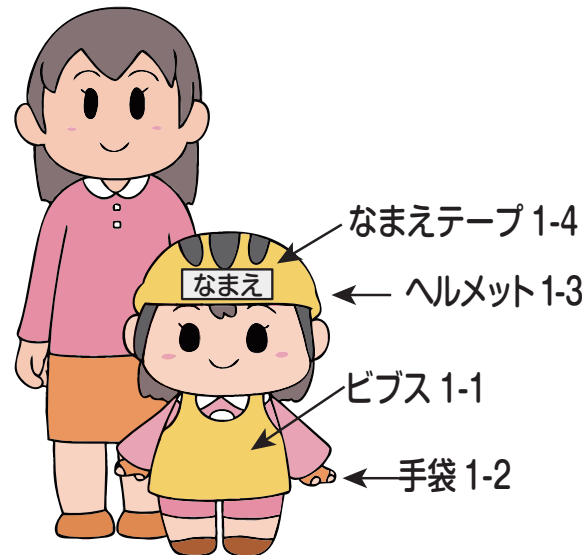
「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

⑥ 園児には、共通のビブスを着用してもらい、仲間意識やモチベーションの向上を期待しています。

⑦ 園児には、滑り止め付き指切り手袋を着用してもらい、手をつくことで怪我の防止をしています。



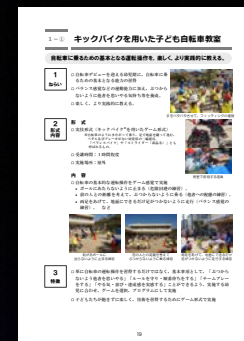
ビブス



滑り止め付き指切り手袋

自転車ゲーム

実施スタイル 基本10項



協力：京都市・
(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)
出典：京都市自転車安全教育プログラム
「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

- ⑧ 園児は、ヘルメットを着用し正しい被り方を学びます。
- ⑨ ヘルメットには、名前シールを貼り付け、名前呼び合いコミュニケーションをとります。



自転車ゲーム

実施スタイル

基本10項



協力：京都市・
(一社) 市民自転車学校プロジェクト (CCSP)
出典：京都市自転車安全教育プログラム
「キックバイクを用いた子ども自転車教室」

⑩ 自転車ゲームの中に、交通標識や信号機を取り入れて遊びながら学びます。





自転車ゲームを始めよう！

